

# 平成 28(2016)年度 追手門学院小学校 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

志高い「追手門教育」の継承

- (1) 魅力ある追手門教育の推進—誰が教えても、何を教えてもナンバーワン教育の確立—
- (2) 伝統の継承に基づく心情育成への実践推進—追手門を誇りに思う愛校心の涵養—
- (3) 『志の教育』と『心の教育』の実践推進—意欲伸長と内面深化の追求—

## 2 中期的目標

(1) 魅力的な追手門教育の推進

- ・国語算数指導力向上3か年計画の最終年としての研修授業体制を確立。
- ・アクティブ・ラーニングに重点を置いた研究体制。
- ・発表力を中心とした表現力の育成を推進。
- ・漢字統一テストや計算大会、用語チェックテストなどによる基礎力の徹底。

(2) 『志の教育』の実践

- ・本年度完成した iPad による自校教育アプリを活用。
- ・ハンディキャップをテーマに道徳科講演会を実施。
- ・「善行を讃えて」の啓発。
- ・「親切」心の育成。
- ・外部機関を通じての出前授業の実施。

(3) グローバル社会で求められる教育の推進

- ・高学年での到達度別英語授業の推進。
- ・英語教育の方向性を確立。
- ・デジタルコンテンツの積極的な活用。
- ・省エネとエコの全校を挙げて取り組み。

(4) 規律正しく安全な学校生活

- ・6学年の系統性と発達段階を踏まえた日々の指導。
- ・生活指導部や道徳科を中心に心情育成。
- ・安全な学校生活と登下校の指導。

(5) 積極的な児童募集

- ・教育活動をアピールする広報ツールの工夫。
- ・新規の説明会の実施。

### 【保護者アンケートの結果と分析・学校関係者評価委員会からの意見】

保護者アンケートの結果と分析 [平成28年11月実施分]	学校関係者評価委員会からの意見
<p>○昨年度まで評価が低かった下位 10 項目でスコアが上昇し、満足度スコアの合計値が1ポイント高くなった。学校側の教育に対する情報発信の機会を増やすことに注力し、原則として学年別参観日には学級懇談会を必ず実施し、学級の子どもの現状や成果、課題の告知やそれに伴う協力要請などを細かくお願いした成果もあったと判断している。</p> <p>○給食調理業者を本年度4月から変更したことにより、従来馴染んできた味付けが変わった。しかし、年度当初は給食調理業者と細部に渡る打ち合わせを何度もしたことで、PTA給食委員会による視察と試食でも問題点は無かった。</p> <p>○最もスコアが上がったのは「13 進学指導（5・6年対象）」で、過去最高のスコアであった。進学説明会を5年生に前倒しすると共に、初等中等室との連携により幅広い中学校進学データと情報を得て、説明会や進学懇談会に活かした成果の現れと判断している。また、「2 総合学園」が初めてプラスに転じた。幼小連携や小中連携の推進のほか、大学の支援による学生の水泳・生活指導を進める臨海学舎など、少しずつではあるが着実に成果が浸透してきた。</p> <p>○礼儀礼節を第一義とする生活指導分野は、本校教育の根幹となるべき躰教育であり引き続き全教職員のさらなる意識向上と指導力向上に取り組む必要がある。</p> <p>○保護者アンケートの回収率は99.5%（昨年度99.0%）で保護者の皆様の協力度が極めて高いものであった。今後も保護者と教員のアンケート結果の差異を含む分析を進め、その結果を小学校経営に反映させていきたい。</p>	<p><b>第1回（平成28年5月23日）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在のようにこれからも文武両道の追手門学院小学校らしさを貫いてほしい。⇒建学の理念を忘れることなく教育活動に努めたいと回答。</li> <li>・今後もグローバルな人材の育成を願う。⇒平成29年度までに英語教育の充実を計画していることを説明。</li> <li>・建学の精神、よき伝統を忘れることなく頑張ってもらいたい。⇒期待にこたえられるよう教育に邁進することを約束。</li> </ul> <p><b>第2回（平成28年11月5日）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・追手門として進むべき道を邁進してほしい。⇒今後も伝統と追手門らしさを大切にして教育活動を進めると回答。</li> <li>・教育活動の計画を理解する。このまま頑張ってもらいたい。⇒建学の精神を忘れることなく教育活動に努めたいと回答。</li> </ul> <p><b>第3回（平成29年2月21日）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な改革や伝統のある礼儀指導などよくやって頂いた。⇒今後も継続して成果を上げたい。</li> <li>・自分の子どもが学んだ教育を孫にも受けさせたい。⇒新しいものを取り入れつつふれることの無い心の教育を続けると回答。</li> <li>・自己点検・評価シートに数値目標があっても良いのではないかと。⇒教育の評価は数値で表すことが難しい場合があるが取り入れやすい目標設定も考えていきたいと回答。</li> </ul>

### 3 本校の取り組み内容および自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 魅力ある追手門教育を支える指導力の強化	<p>①アクティブ・ラーニングの研究推進</p> <p>②児童がいきいきと活動する授業展開の研究推進</p> <p>③基礎基本の徹底</p>	<p>①国語算数の指導力向上3か年計画の最終年としての研修授業体制の確立。アクティブ・ラーニングに重点を置いた研究。</p> <p>②アクティブ・ラーニング型授業の導入で、発表力を中心とした表現力の育成。</p> <p>③漢字統一テストや計算大会、用語チェックテストなどを反復して実施することにより、徹底を図った。</p>	<p>①算数科と国語科の研究授業を実施。アクティブ・ラーニングの研修授業8本実施。</p> <p>②発表力の向上。発表場面を重視した授業の構築。</p> <p>③指導教員による若年教員の育成と研修授業の実施。国語、算数の指導体制の整備。基本事項の定着や明確な課題を設定した場を設定する。</p>	<p>①6教科8回のアクティブ・ラーニングを前提に研究授業を実施に加え、国語科師範授業と合宿研修理科模擬授業により、研究・研修授業での教員研修体制が確立した。全教員の授業力向上への意識のさらなる向上が次年度の課題である。</p> <p>②教科毎にカリキュラムを見直し、アクティブ・ラーニングによる授業単元を設定した。平常時より意見交換活動を採用入れた授業を推進すること、個々の児童への細かな対応が課題である。</p> <p>③各教科とも基礎的知識の定着を目的とした個々への対応を継続したが、懇談会等を通じての資料提供と家庭の協力依頼に努めた。次年度以降についても継承発展させていきたい。指導教員による若年教員の研修体制が整い成果を上げた。</p>
2 志の教育の実践	<p>①自校教育の推進</p> <p>②道徳教育の推進</p> <p>③キャリア教育の推進</p>	<p>①自校教育アプリの活用</p> <p>②道徳科講演会を実施。「善行を讃えて」の啓発</p> <p>③外部機関による出前授業の実施。</p>	<p>①教育理念「社会有為、独立自彊」を通して「志の授業」を行う。創設理念を説く。学用品供養祭実施。大阪城活動の実施。学校史を指導する。行事の目的の理解促進。</p> <p>②道徳授業の充実。なかよし下校の実施。清掃での縦割り班の編成。</p> <p>③児童の将来に繋がり、夢ややる気に繋がる授業の構築。</p>	<p>①朝礼や週番活動で社会有為の理解に努めた。「3つの目標」の意義を再認識させて活用することで、母校愛を育てる教育活動を次年度も継続する。</p> <p>②外部研究会に積極的に参加した。生活指導部と道徳科を中心に、徳育を最重点課題に掲げて活動した。日々の学校生活の中で、今後とも全教職員で取り組む必要がある。</p> <p>③公的機関やロータリークラブなど、卒業生の協力が効果的であった。低学年でのキャリア教育推進が、来年度以降の課題である。</p>
3 グローバル社会で求められる教育の推進	<p>①国際教育</p> <p>②ICT教育</p> <p>③環境教育</p>	<p>①英語教育の推進。国内外の先進校の視察。来年度以降の英語カリキュラムの構築。国際交流行事の実施。</p> <p>平成28年7月20日～28日 オーストラリア姉妹校訪問・8月3日～17日オーストラリア姉妹校へ教員派遣・9月19日～30日オーストラリア姉妹校教員受け入れ 平成29年3月23日～31日 ハワイ姉妹校訪問</p> <p>②児童用iPadによるデジタルコンテンツの積極的な活用。</p> <p>③児童会の環境委員会を中心とした省エネとエコの全校の取り組み。</p>	<p>①ネイティブティーチャーと日本人を配置した授業展開の構築。国際交流行事を通して国際教育を進める。ネイティブティーチャーとの挨拶と英語朝礼。次年度の英語授業時間数確保のための校時変更。</p> <p>②パソコンを使った授業の確立。タブレットを活用した授業展開の研究。</p> <p>③前年度同月比で電気、ガス、水道の消費量が下回る。各室での紙の分別を行う。</p>	<p>①学習指導要領の改訂を先取りし、次年度からのモジュールを含めた週3時間化の枠組みを完成させた。“Otemon English Village”を3・4年生希望者に実施し、来年度からの本格実施に備えた。</p> <p>②教室での自校教育アプリを使った授業をはじめ、場所や教科を問わずあらゆる授業での活用が可能となった。新東館建設を見据えてより積極的活用を進める余地がある。</p> <p>③各教室での再生紙の分別収集を周知して徹底するほか、各種ポスターを作成するなどの意識化に成果を挙げた。</p>
4 規律正しく安全な学校生活	<p>①礼儀礼節と規律の指導</p> <p>②マナー・安全指導と対策</p> <p>③けがの予防対策と環境整備</p>	<p>①各学年の発達段階と6学年の系統性を踏まえた指導と内面化の育成。</p> <p>②生活指導部や道徳科を中心とした心情育成。</p> <p>③運動場人工芝の活用と遊び方指導。</p>	<p>①礼儀礼節の指導。朝礼で行動の訓練実施。和洋に通じるマナー指導。</p> <p>②安全指導の実施。緊急下校訓練の実施。なかよし下校の実施。</p> <p>③廊下の歩行指導。雨の日のすごし方の指導。</p>	<p>①創設以来の本校の根幹を為すものである。本校が求める成果水準を下げることなく、日々具体的な指導を行い、高い成果を追求していく必要がある。</p> <p>②今後もきまりの徹底と道徳的な規範意識の向上を目指す。本校は礼儀正しい登下校と安全な登下校を求められており徹底した指導と率先垂範を大切にしたい。</p> <p>③安全意識の向上させることにより、けがのさらなる減少に努めたい。昨年2割近くけがの総数が減った状態を維持した。</p>
5 積極的な児童募集	<p>①教育活動の積極的発信</p> <p>②外部説明会への参加推進</p>	<p>①教育活動をアピールする動画を作成。</p> <p>②新規の説明会や阪神間の有力幼稚園での講演会の実施。</p>	<p>①コンセプトブックの作成。リーフレットの作成。ポスターや新聞広告、イメージ広告の作成。ホームページの充実。</p> <p>②幼稚園などでの講演会の実施。5月、6月、8月に学校説明会の実施。</p>	<p>①入試説明会の2回から3回への回数増、および時期の1か月繰り上げを行うほか、全教員参加による個別相談会を初実施した。さらに入試形態を一部変更と求める児童像を明らかにする広報活動を行った。これらが志願者増に繋がった。</p> <p>②追手門学院幼稚園との連携強化と、プレテストの実施時期を1か月繰り上げにより志願者が増えた。今後も教育講演を広く実施し、本校の魅力を周知したい。</p>